

社会のデジタル化が進む中、小学校ではプログラミング教育が必修化され、「プログラミング的思考」を育むことが求められています。プログラミング教育を通して、子どもたちは将来の選択肢を広げ、新しい時代の変化にも柔軟に対応できる力を身につけることができます。園でのプログラミング教育は、技術や知識を教え込むのではなく、遊びの中で楽しく体験させ、小学校に入学してからの学習にも意欲的に取り組めるようにすることを目的としています。

遊びながら「思いを表現する力」を育む

「思える楽しさ」や「考える楽しさ」を育む

＜プログラミング的思考とは＞

- ①物事を順序立てて論理的に考える力（論理的思考力）
- ②複雑な問題を小さな部分に分解し、解決策を考える力
- ③試行錯誤しながら課題を解決する力

わくわく ドキドキ が止まらない！

ちゃいるどはうすエンジェル

プログラミング教育

対象 5歳児クラス（ぞうさん）

2025年10月中旬

START！

／すべてくらぶで得られるちから／



創造性を発揮する力

プログラミングをしながら、「もっとこうしたい！」を育むなかで、試行錯誤しながら、自然と身に付けていきます。



考える力

自分で描いたキャラクターを動きや音をともなう方法で表現することができます。動きを試行錯誤しながら、ぴったりの動きをプログラムしていきます。



主体性

コンピュータによる遊びそのものに、学びを取り入れることで夢中になって学べる環境づくりが可能となります。



新しい時代に適応する力

変化の激しい時代は予期せぬことの連続です。PCやタブレットを使い、きっとこうできるはずだと予測を立てながら時代を生き抜く力を培っていきます。



表現する力

自分の頭の中でひらめいたアイディアをプログラミングとして表現します。知り得た知識を駆使して表現が出来た時の喜び、伝わる楽しさを培います。



すべてくらぶ では、これらの基礎となる最初の一歩を楽しくスタートできるようカリキュラムが組まれています。